



高齢期 ひとり暮らしの家計簿

公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・
コンサルタント協会 西日本支部

NACS
高齢研 「高齢社会を考える会」

「高齢社会を考える会」は平成9年に発足し、高齢者の身近な問題を取り上げて、調査・研究し、情報提供をしています。

収入の大部分は年金という高齢期のひとり暮らし。年金だけでは不足する人が多いと総務省の家計調査は示していますが、はたしてどんな暮らしができるのでしょうか？「高齢社会を考える会」では65歳以上の単身者に家計のアンケートを行い、高齢期のひとり暮らしの家計簿から工夫や考え方次第で自分らしく心豊かに暮らすことができる暮らし方のモデルを作りました。この多様な15人のモデルはこれからのあなたの暮らしにヒントを提供します。

【冊子概要】

- 高齢期 ひとり暮らしの家計簿
- 豊かな暮らし、ひとそれぞれ
- お役立ち情報
- アンケート調査結果

A5版 70頁
冊子 1冊 300円
送料 1冊 180円

モデルそれぞれが自分にとっての「豊かさ」を大切にして暮らしています。また、病気や要介護になったときを想定した費用についても盛り込みました。関心をお持ちの方は下記のFAX欄またはEメールをご利用の上お申し込みください。冊子と振込用紙をお送りします。

※ご記入いただいた個人情報については冊子送付手続きにのみ利用します

問合せ先：「高齢社会を考える会」 代表 榎田 キヌエ

FAX：072-258-0659

Eメール：west-koureiken@nacs.or.jp